

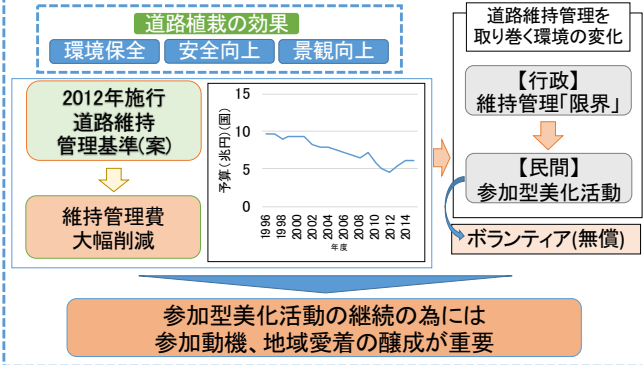
参加型美化活動を通じた市民の地域帰属意識の醸成と 変容に関する研究～本庄早稲田地区での花植ワークショップを例として～

第15回 環境情報科学センター
ポスターセッション(2018.12.17)

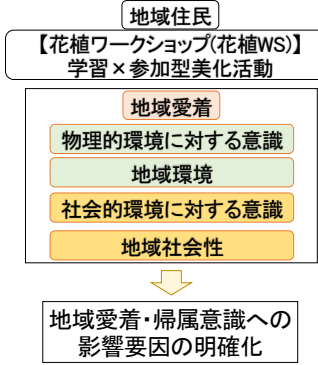
小笠原 正人*、納富 信*

*早稲田大学 大学院環境・エネルギー研究科

研究背景



研究目的



対象者・アンケート内容

調査対象者
・ 10代～70代 本庄市在住・在学・在勤
合計12名(男性6名、女性6名)

活動場所
・ 埼玉県本庄市早稲田の杜地区

調査方法と内容
・ 花植WS 各回アンケート
VFI手法⁽¹⁾に基づく行動参加要因に関する
6設問を5件法で回答
・ 花植WS 事前事後アンケート
地域愛着に関する4要素12設問 5件法で回答

(1) 桜井 政成 複数期アプローチによるボランティア参加動機構造の分析
-京都市域のボランティアを対象とした調査より-日本NPO学会 2(2)p111-122(2002)

花植WS 各回アンケート結果

【第1回】10月27日(土) 13:00～14:30	【各回アンケート質問項目】 (尺度(得点):1,全くそう思わない～5,とてもそう思う)	【VFI手法 ⁽¹⁾ を用いた要素】
タイトル: 『本庄市は「フラワー王国」?』 内容: アイスブレイク・特産物「花」紹介 (本庄農林振興センター職員講演) ねらい: 住民交流意識の変化 特産物(花)の認知度変化 変化要因: 地域スポンサー紹介、有識者の講演	1. ワークショップで他人のために何かできましたか? (価値) 2. ワークショップは人生経験でプラスになりましたか? (理解) 3. ワークショップを通じて友人ができていますか? (社会) 4. ワークショップであなたの持つ知識や技術を活かすことができましたか? (キャリア) 5. ワークショップに参加することで、嫌なことを忘れることができた。(防衛) 6. ワークショップに参加して自分の存在意義を再認識した。(強化)	価値: 利他的思考、自己犠牲の精神 理解: 社会勉強、人生経験 社会: 他人と触れ合う、「つきあい」 キャリア: 知識や技術・能力を試す機会 防衛: 自分の問題を忘れる為 強化: 自尊心や自己肯定感を高める
【第2回】11月10日(土) 13:00～15:00 タイトル: 『理想の道路景観を考えよう』 内容: 道路景観に関する講座、花のある風景紹介 ねらい: 花のある生活に対する好感度の変化 変化要因: 道路植栽・景観に関する情報提供 タイトル: 『実際にフラワーロードを設計しよう』 内容: フラワーロードの設計 ねらい: まちづくり参加意識の変化 変化要因: フラワーロードの設計活動	各回アンケート結果(n=12)	【各回アンケート まとめ】 ・ 第1回は、本庄市市農林振興センターの講演があり、『理解』の項目が高い得点。座学中心で『キャリア』を發揮する機会には少なかった。 ・ 第2回は、ディスカッションの時間が多く自分の話しをするので『防衛』が高い得点になった。 ・ 第3回は『価値』が高得点であるが、公共用地を綺麗にするという利他的思考が影響したと考えられる。 ・ 第4回は、『理解』が全員「5」という結果になった。花植WSが非常に良い人生経験であったと考えられる。 ・ 花植WS全体を通して、『社会』が高い得点であるが、地域イベントに積極的な姿勢で、交流したことが影響している。
【第3回】11月17日(土) 13:00～15:00 タイトル: 『ついに完成「本庄早稲田フラワーロード」』 内容: 道路沿道へ花植活動 ねらい: 住民交流意識の変化・利他的思考の変化 変化要因: 花植協働作業	価値: 平均得点 4.1, 3.9, 4.7, 4.3 理解: 平均得点 4.6, 4.4, 4.6, 5 社会: 平均得点 4.5, 4.7, 4.8, 4.8 キャリア: 平均得点 3.7, 3.9, 4.2, 4.2 防衛: 平均得点 4.0, 4.6, 4.8, 4.8 強化: 平均得点 3.8, 4, 4.2, 4.2	
【第4回】11月24日(土) 13:00～14:30 自慢の「フラワーロード」の写真を撮ろう! 内容: 花壇日常管理(水やり・雑草取り) ねらい: 自己肯定感の変化 変化要因: 写真撮影、花壇の紹介		

花植WS 事前事後アンケート結果

【事前事後アンケート項目】
(尺度(得点):1,全くそう思わない～5,とてもそう思う)

- 1-1. 本庄市の町並みや自然は綺麗だと思う(景観)
- 1-2. 本庄市の人が皆知っている地域シンボルがある(地域シンボル)
- 1-3. 本庄市の名産品は他の地域の人に勧められる(特産物)
- 1-4. 日頃、本庄市の人々と交流を持つことが多い(住民交流)
- 1-5. 地域で行われるイベント、企画は楽しみである(行事)
- 1-6. 本庄市の人々は親切だと思う(住民の人柄)
- 1-7. 本庄市に今後も住みたいと思う(定住意向)※本庄市に在住者のみ回答
- 1-8. 自分は本庄市の社会の一員だと思う(所属意識)
- 1-9. 本庄市の人々は自分にとって大切な存在である(住民間尊重意識)
- 1-10. 本庄市の雰囲気や土地柄を気に入っている(街の雰囲気)
- 1-11. 本庄市は魅力の多い街である(地域の魅力)
- 1-12. 本庄市は自然豊かである(自然の豊かさ)

	物理的環境に対する意識				地域環境	
	景観*	地域シンボル*	特産物*	自然の豊かさ*	地域の魅力*	街の雰囲気*
実施前平均得点	3.50	2.83	3.17	4.17	3.08	4.25
実施後平均得点	4.00	4.00	3.90	5.00	4.10	4.80
	社会的環境に対する意識				地域社会性	
	住民交流*	行事*	住民の人柄*	定住意向*	所属意識*	住民間尊重意識*
実施前平均得点	3.33	3.67	4.58	4.50	3.58	3.83
実施後平均得点	4.20	4.60	4.60	4.60	4.50	4.60

※差の検定(t検定):5%で有意

アンケート結果(感想)のテキストマイニング

各回アンケートで回答した「本日の感想(自由記述)」文章をテキストマイニングにより分析

第1回

第2回

第3回

第4回

共起ネットワーク

- ・ 共起キーワード文章中に出現する単語の出現パターンが類似した物を線で結んだ図。
- ・ 出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画される。
- ・ 色は品詞を表している。
名詞:青色 動詞:赤色 形容詞:緑色

【テキストマイニング まとめ】

- ・ 各回共に、「楽しい」「良い」といったポジティブな形容詞が多く見られた。
- ・ 第1回は、アイスブレイクを行ったこともあり、交流・属性に関連する名詞と「面白い」という形容詞が多く結びついている。
- ・ 第2回は、花壇設計を行った為、「花壇」と「デザイン」が中心。
- ・ 第3回は「楽しい」という形容詞を中心に、作業にまつわる名詞が結びついた。
- ・ 第4回は、「良い」という形容詞が中心ではあるが、「管理」という名詞に対して、「難しい」という形容詞が結びついた。

まとめ

- ・ 花植活動によって、地域の魅力を再発見できることを確認した。
- ・ 参加者は花壇に対する愛着が湧き、普段から見に来るようになった。
- ・ 自発的に、花壇を管理するメンバーが現れた。
- ・ 「花」は人を繋ぐ力があると感じた。

